

レーダーによる津波観測

近づいてくる津波をいち早く発見します

背景・目的

- 万が一発電所などの沿岸にある設備が浸水してしまうような大きな津波が押し寄せてきた場合、津波の襲来をいち早く発見・周知することでそこで働く作業員が安全に避難できます。また、繰り返し押し寄せる津波を観測して、復旧作業に取り掛かるタイミングを判断することができます。

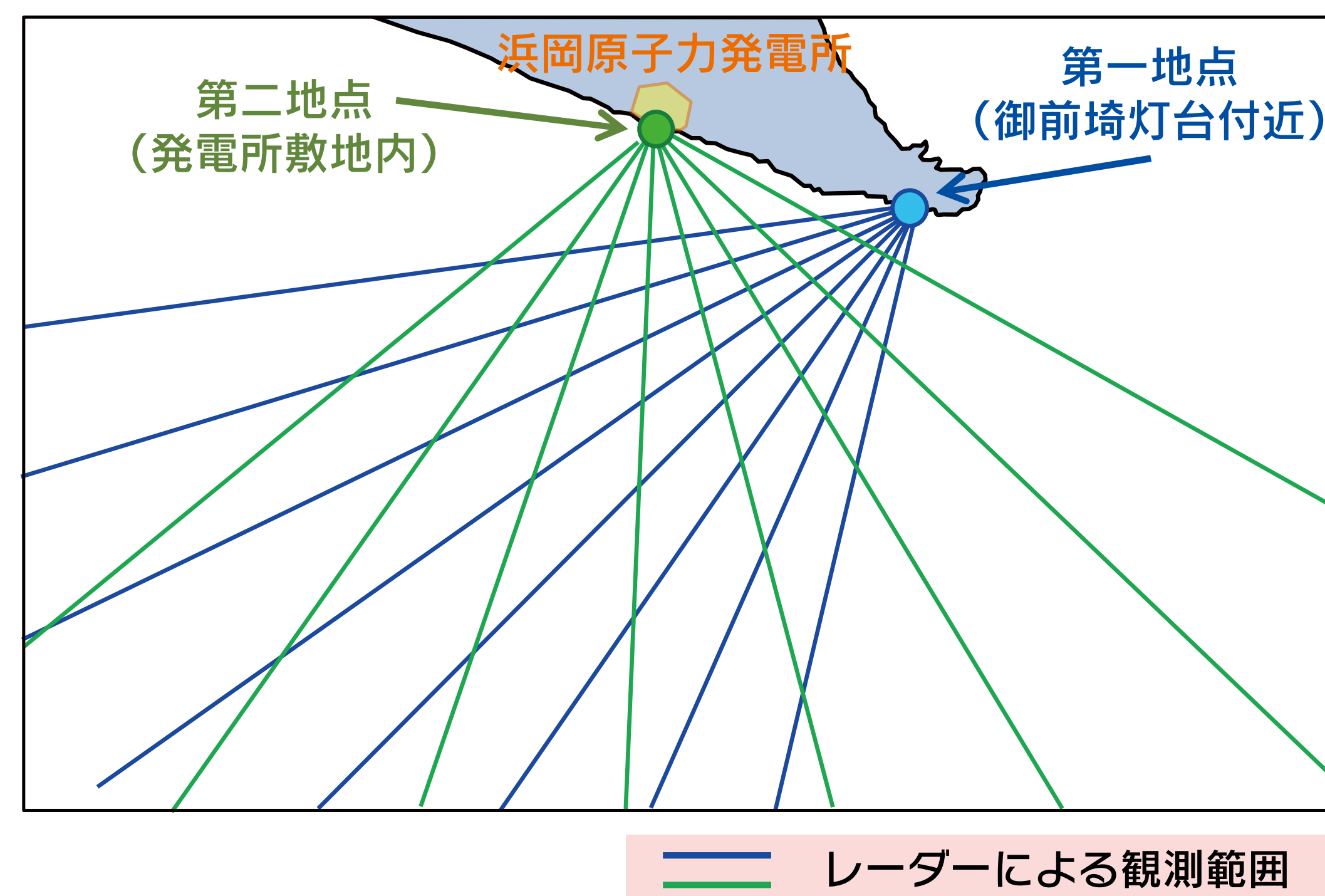
特長

- 沖合20kmまで観測可能
- 津波の移動する速さを観測可能
- 津波の到達時刻が推測可能

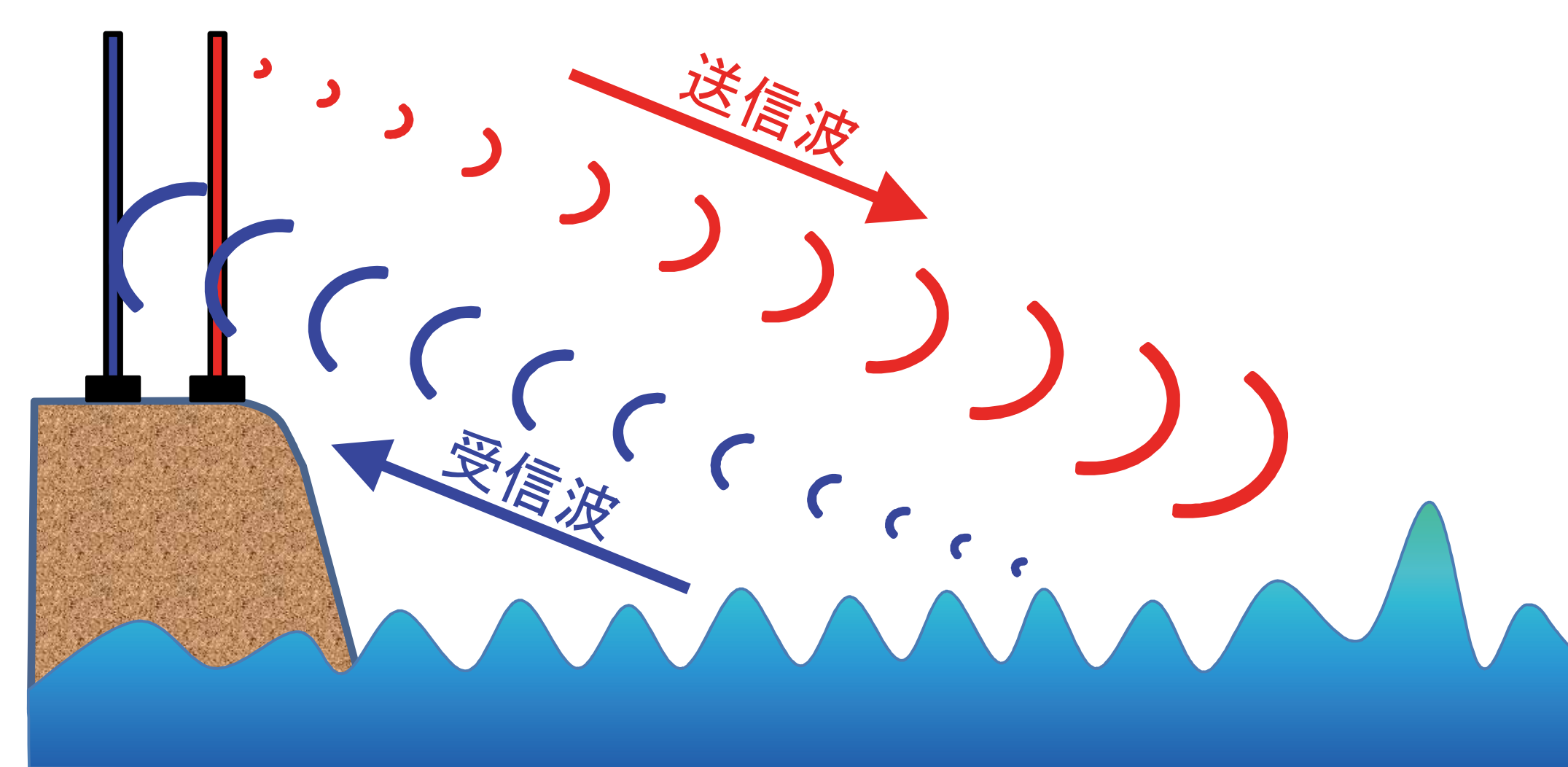
用途

- 浜岡原子力発電所前面海域にて検証試験中

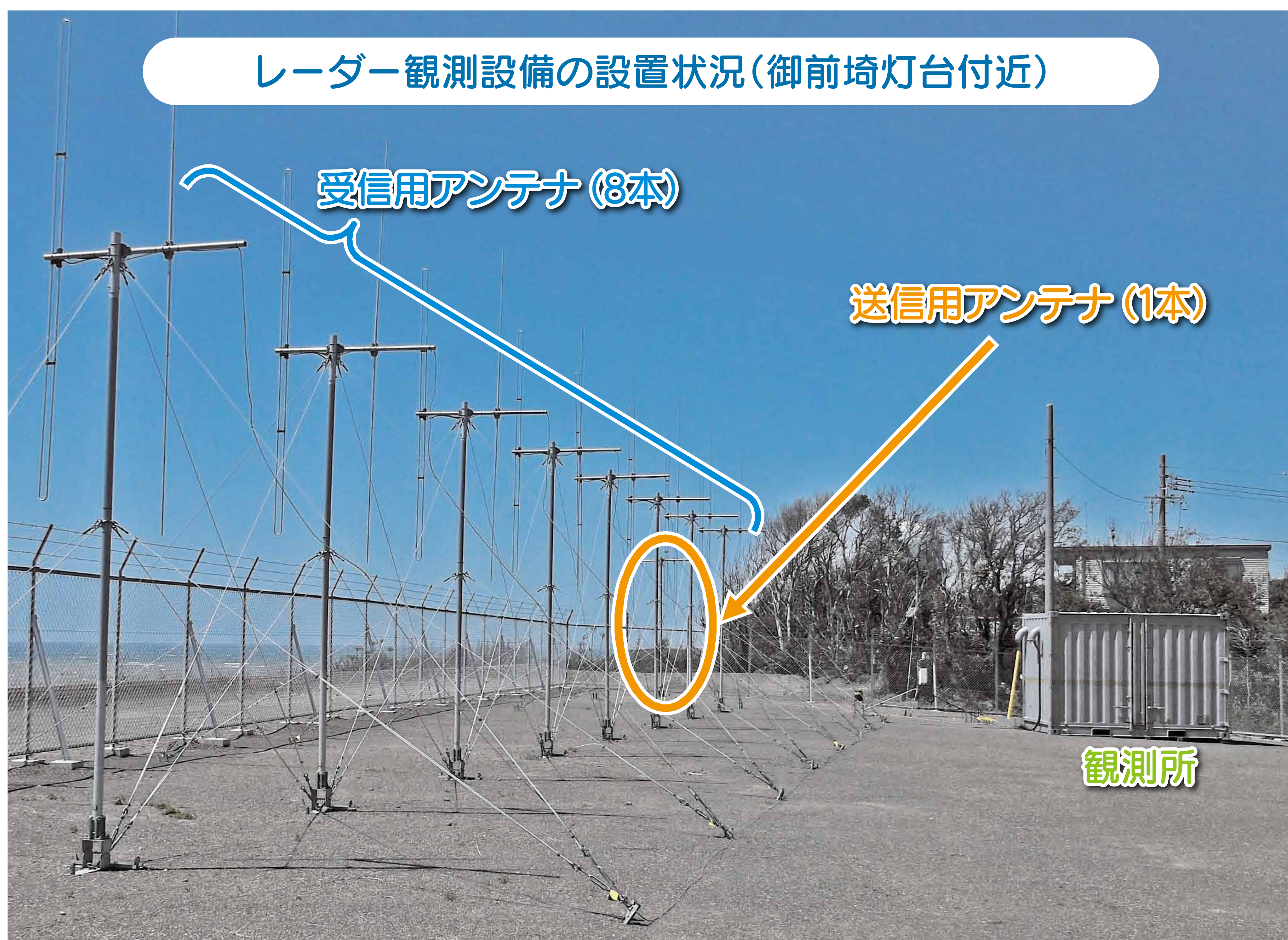
浜岡原子力発電所前面海域での観測範囲



津波（海表面流速）観測の原理



レーダー観測設備の設置状況（御前埼灯台付近）



開発者のひとこと

尊い人命を危険な津波から守るため、押し寄せる津波を少しでも早く、少しでも正確に観測できるよう、課題を一つ一つ丁寧に解決しながら研究を進めていきます。